

带状疱疹ワクチンについて

Q 带状疱疹ワクチンは、発症しても軽症、後遺症の予防にもつながるとされています。带状疱疹の発症は、50歳を境に急激に上昇するとされており、带状疱疹ワクチン接種の助成について当町の考えを伺いたい。

A 予防接種の意義は大きいと認識している。全国でも13の自治体が助成しているが、定期接種ではなく任意接種であることから、当町としては県と相談しながら、安全なワクチン接種の助成に努めてまいりたいと考えている。

(町民生活部長)



議席2番

染谷 直人 議員



橋本町政3期目の財政運営について

Q 橋本町政3期目の財政運営に関し、今後4年間の見通しと取組方針について伺いたい。

A 橋本町長就任以来、ふるさと納税の積極活用、地方創生関連の補助金の獲得等を通じ、昭和42年来、増え続けていた地方債残高を172億円から151億円へ削減し、貯金である基金残高は7億円から33億円へ増加。

財政予測に基づく令和7年度の地方債残高143億円、基金残高59億円、将来負担比率36%と改善見込みであり、引き続き、財政健

全化に取り組んでいく。

(企画部長)

若者の将来的な当町への定着を企図した教育支援の充実について

Q 通学高速バス定期券購入費助成事業に関し、同助成事業の申請件数等および周知方法について伺いたい。

A 本事業は高速バス運行開始(令和3年7月)に合わせて開始し、現時点での申請件数は、都内の大学に通う大学生の1件。町ホームページや町内学校への周知を行い、令和4年度の申請は、都内進学者数件が見込まれる。今後は、各学校と連携し、卒業生の進路把握やニーズ調査を行うことに加え、通勤者も助成対象とする等の検討を行い、利用を促進したい。

(企画部長)

Q 「境町奨学生」事業に関し、奨学金貸与状況および更なる支援

策の検討について伺いたい。

A 平成28年4月に境町奨学金貸付条例を制定し、令和3年度は13名合計312万円を奨学金として貸付を実施。これまで6年間で22名1,296万円の貸付を実施。本奨学金は、当町の定住促進も兼ねており、最終学校卒業後、5年間当町に居住した場合、返還を免除するものとしており、卒業生9名のうち8名が町内に居住中。

議員申入れのふるさと納税を活用した奨学金の返済に関しては、新しい提案であり、今後検討してまいりたい。(副町長・教育次長)

